

次のステップに進んだ先輩から
次にステップを進める後輩達へ

応用バイオ科学科オリジナル 先輩達のCareer History

「to the Next」

- 2016年版 -

「to the Next」

次のステップに進んだ先輩から
次にステップを進める後輩達へ

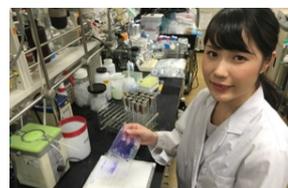
先輩達の Career History



榎村 諒 Kashimura Makoto

中外製薬株式会社 東京証券取引所一部上場[医薬品]

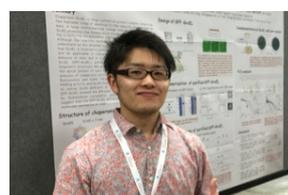
03



倉橋 怜亜 Kurahashi Reia

アサヌマコーポレーション株式会社[化粧品]

04



西村 友汰 Nishimura Yuta

凸版印刷株式会社 東京証券取引所一部上場[印刷]

05



丸山 貴浩 Maruyama Takahiro

株式会社トーモク 東京証券取引所一部上場[ダンボール・紙器]

06



秋澤 政孝 Akisawa Masataka

上田株式会社[塗料・ペイント]

07



川上 勇希 Kawakami Yuki

大東力カオ株式会社[製菓]

08



磯部 裕貴 Isobe Yuki

ガステックサービス株式会社[ガス・石油製品]

09



渡邊 茜 Watanabe Akane

国立大学法人 秋田大学[教育機関]

10



バイオの知識で 医薬品を届けたい

榎村 諒 Kashimura Makoto

中外製薬株式会社 東京証券取引所一部上場
MR (医薬情報担当) [製薬]

2016年3月卒業 / 麻布大学附属瀧野辺高等学校出身

学んだことは全て活かせた

大学生生活と就職活動

1年のときは、サークル活動や友人との交流で輪を広げることに重点を置きました。新しい環境になり初めてのことが多く、はじめは戸惑いもありましたが少しずつ慣れていくことができました。2年になり大学生生活には慣れ始め、友人も増えて勉強や実験をしながら時折友人と遠出したり、自由な生活を過ごしました。3年のときは、最後の自主テーマ実験でこれまでの知識を活かして難しいテーマに挑戦しました。ゼミ配属が決まってからは、これからの研究室での研究活動や就職活動に向けて、遊ぶ時間を削って積極的に活動しました。4年の研究室では、専門分野の研究だけではなく、社会人になる上でのマナーや取り組み方を学びました。ここまでで学んだ知識は、就職活動で大いに活かすことができました。また、就職活動が終わると研究に集中し、卒業研究発表会ではこれまでの研究成果を堂々と発表することができました。

バイオの視点から医薬品を届けたい

私がこの仕事を選んだ理由

高校生の頃から医療や医薬品に興味があり、大学で学んだバイオの知識を活かして医療分野で働きたいと考えていました。世界には未だ治療が難しい病気が多い中、近年、再生医療や抗体医薬といった技術を駆使した様々な新薬が開発されています。その画期的な新薬を含め医薬品をより多くの患者様に届けることで、人々の生活に貢献できると思いました。中外製薬は、抗がん剤国内シェアNo.1。国内最高級の技術力で開発の難しいバイオ医薬品や抗体医薬品を開発している点に感銘を受けた他、自身の持ち味である挑戦力や誠実さ等が合っていると感じ志望しました。

医者に信頼され地域を支えるMRに

私が考える5年後の展望

MRとして病院を訪問していく中で、病院の医師も気付かないようなニーズを見つけ提案できるMRになりたいです。また、自分の担当病院だけでなく、担当していない病院にも目を向けるようにし、その地域全体が抱える問題や医療ニーズにも取り組めるようになりたいです。



1年間研究室で実験をして得られた研究の成果を発表する卒業研究発表会での様子

企業情報

中外製薬株式会社 東京証券取引所一部上場

日本の大手医薬品メーカー。医療用医薬品の製造・販売・輸出入を行い、「バイオの中外」として同分野において圧倒的に他社をリードしている。2002年世界的バイオ企業でスイスの大手医薬品メーカー、エフ・ホフマン・ラ・ロシュ (Fritz Hoffmann-La Roche) 社とアライアンスを締結した。

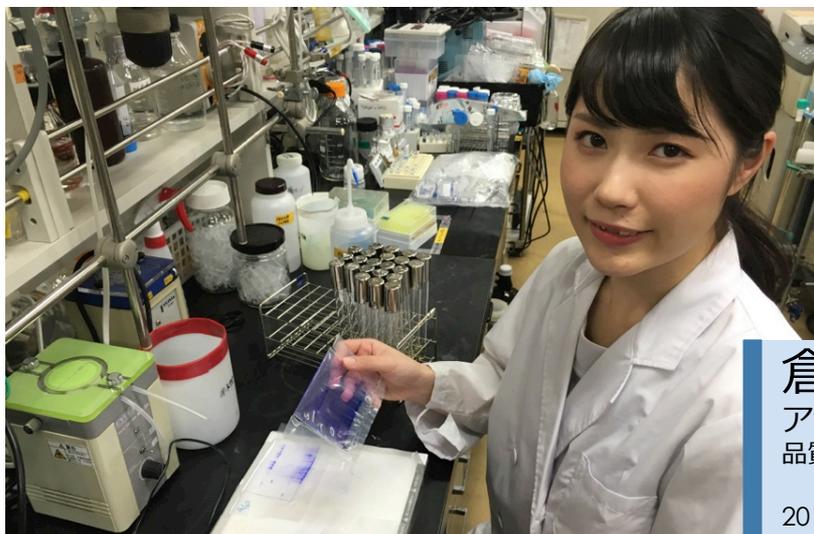
MR : 医薬情報担当者 (medical representative)

医療用医薬品の品質・有効性・安全性などの情報を医師をはじめとする医療従事者に提供するとともに、実際に使用された医薬品の副作用情報を収集し製薬会社にフィードバックすることを主にした業務

色々成長させてくれた 研究室生活

16

年卒業



倉橋 怜亜 Kurahashi Reia
アサヌマコーポレーション株式会社
品質管理[化粧品]

2016年3月卒業 / 神奈川県立秦野曽屋高等学校出身

研究室生活は1番自分を成長させてくれた

大学生活と就職活動

入学当時は大学の勉強についていけるか不安が大きかったのですが、復習も兼ねたわかりやすい授業で基礎知識を原理からきちんと理解して身につけられました。2年になるとバイオ科学に興味を持ち勉強が楽しいと思い始め、生命を維持するための巧みなメカニズムに惹かれてしまいました。3年では、研究室のゼミ生として専門分野の英語の参考書を読むうちに苦手意識のあった英語を克服した他、卒業研究を行う自信ができました。卒業研究は先生とディスカッションを行いながら実験を進め、目上の人とのやり取りの仕方や意見の提案の仕方等、学生と社会人の境となる時期に学ぶべきことをたくさん習得することができました。就職活動は、途中で他の業界と迷った時期もありましたが、目指していた化粧品業界への強い気持ちを持って進めることで内定を頂けるようになりました。面接は苦手でしたが、先生とのやり取りや就職活動を通して克服することができました。大学生活最後の1年間は、今までの人生で私を一番成長させてくれました。まだ研究をしたいと強く思いながら大学を去るほど充実した研究生生活を送れたことを誇りに思います。

高い技術力と大手メーカーからの信頼に惹かれ

私がこの仕事を選んだ理由

化粧品には幼少期から関心があり、大学1年の春休みに化粧品工場でアルバイトをしました。そこで、大学で勉強した微生物検査等が品質管理室で行われているのを見て、自分がこの業界で働く姿が想像できるようになりました。就職活動は化粧品業界に絞り、多くの化粧品会社を見ましたが、基礎化粧品よりも使用した人の心まで明るくでき、中身の質以外にもこだわりが詰まっているメイクアップ化粧品は、高い技術力により製品化されていると感じました。さらに、国内外の大手メーカー商品をOEM供給するなど、大手メーカーに信頼され続ける部分にも惹かれ志望しました。

知識を身につけ幅広く挑戦したい

私が考える5年後の展望

現在は品質管理職志望ですが、化粧品製造の全てに興味を持っているので、将来、研究や生産技術等、幅広い仕事に挑戦したいです。そのために、自分の仕事を正確にこなすのはもちろん、慣れてきたら自分の部署だけでなく周りを意識して仕事を行い、また独学で化粧品製造に関して勉強を行うことで、様々な知識を身につけたいと思っています。

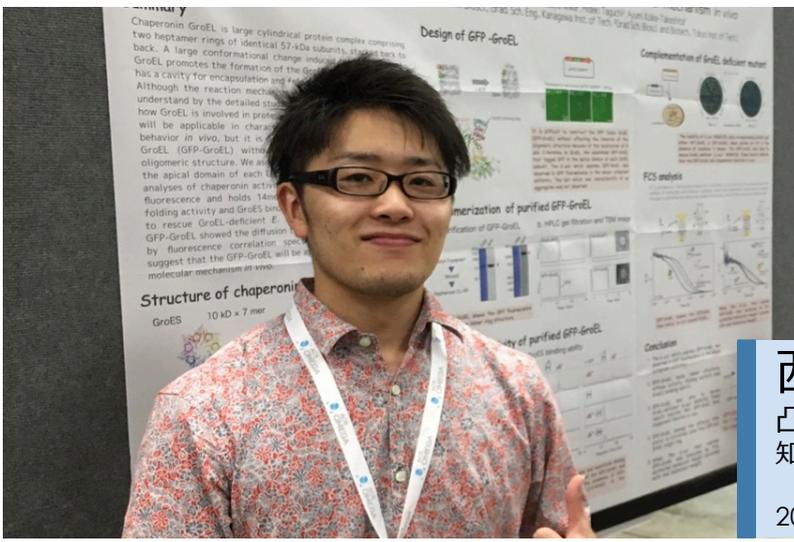


卒業研究発表会で発表後、教員から質問を受けて的確に返答する様子

企業情報

アサヌマコーポレーション株式会社

1952年設立以来メイクアップ化粧品を専門に開発・製造を行う化粧品メーカー。東京都中野区に本社を構え、国内に3つの工場・開発センター・研究所を持ち、海外では上海に1つの工場を持つ。優れた品質は国内の大手メーカーから信頼され、商品をOEM・ODM供給している。



「It's my pleasure.」 の精神で食らいついた

西村 友汰 Nishimura Yuta 院卒

凸版印刷株式会社 東京証券取引所一部上場
知的財産管理[印刷]

2016年3月卒業／長野県立諏訪清陵高等学校出身

「It's my pleasure.」の精神で何事にも必死に取り組んだ

大学生生活と就職活動

私は浪人を経験し学歴にコンプレックスがあったので、意気込んで勉学に励みました。2年になると大学での講義や実験にも慣れ始めたと同時に、妥協で満足する詰め甘さが出始めました。一方、高校時代の友人達の就職活動の様子を聞いて焦り、入学当初から大学院進学を決めていたものの、大学主催の1・2年向け就職講座に参加しました。3年では研究室配属で先生と出逢いもう一度奮起、研究を先攻できる科目を受講し一足先に研究を始め、4年生の卒業研究へとつなぐことができました。念願の大学院では、これまでの人生で最も真面目に取り組みました。だからこそ思い悩み、研究室に行くのが億劫になる時期もありましたが、この辛い経験を乗り越えたからこそ今の自分がいると思います。自分は就職して何がしたいのか考えたのもこの時期でした。修士2年では「It's my pleasure.」の精神で、とにかく「No.」とわず必死に食らいつきました。就職活動は3社と決め必死に企業研究をし、有言実行することができました。先生のお陰で自分を見つめ直し、研究や人としての生き方など、とても大きく成長することができたと感じています。

変革をチャンスと捉える強さ、幅広い事業に刺激を受け

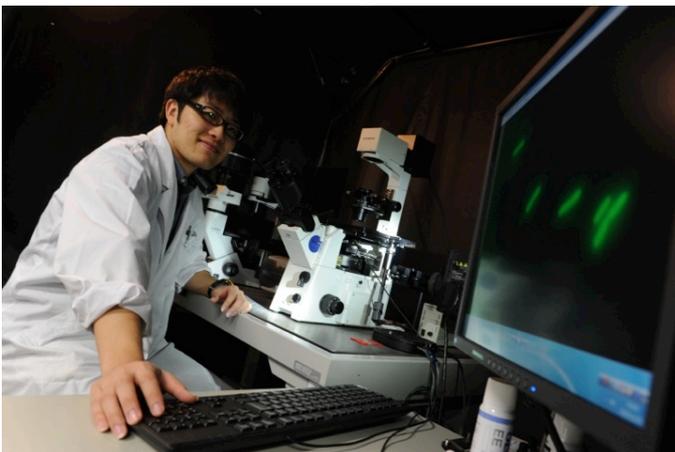
私がこの仕事を選んだ理由

凸版印刷株式会社の変革をチャンスと捉えて立ち向かう「強さ」と印刷テクノロジーを原点とした「モノづくり力」に魅力を感じ志望しました。バイオチップやマグネシウム空気電池など「印刷」という言葉からは想像できないような幅広い事業展開に好奇心が刺激され、分野の垣根を越えたチャレンジを凸版印刷でしたいと強く感じました。

動向を見極め時代にあった提案ができる人材に

私が考える5年後の展望

現在は知的財産部で仕事をしています。医療技術、解析技術の発展から、今後のライフサイエンス分野の特許数は必ず増加傾向になると考えます。健康医療分野だけでなく、時代の流れや動向をしっかりと見極めながら、印刷会社として何が出来るか、「印刷」×「？」を常に意識しながら、時代時代にあった提案ができるような知財人材になりたいです。「科学技術は人々の生活を豊かにする」、この思いから次世代商品を生み出す開発や技術企画の仕事にも挑戦していきたいです。グローバル化の波に負けないよう外国語もしっかり学び、グローバルに仕事をこなしていきたいです。



研究室にてレーザー顕微鏡を操作し蛍光タンパク質を観察する様子

企業情報

凸版印刷株式会社 東京証券取引所一部上場

国内の印刷業界の2強のうちの一社で、世界最大規模の総合印刷メーカー。通称トッパン。カタログや書籍の印刷の他、証券・カード、パッケージ印刷なども担う。近年では、印刷技術を応用したエレクトロニクス製品やインターネットコンテンツ事業も行う。



目標を持って 積極的に

16

年卒業

丸山 貴浩 Maruyama Takahiro **院卒**

株式会社トーモク 東京証券取引所一部上場
製造[ダンボール・紙器]

2016年3月卒業 / 新潟県立分水高等学校出身

研究と就職活動をうまく両立できた

大学生活と就職活動

2年生の夏頃、大学院進学を考え研究室の見学や、研究の魅力や自分の成長につながると考え、特待生での進学を目標に決めました。3年生の時、希望していた研究室の先生にお願いし授業として研究を始め、後に正式に研究室配属が決まり、本格的に研究生活が始まりました。研究室生活は、学部の授業にない新鮮さと、最先端の研究に関わり刺激をききました。また、早くから目標を決め勉強と研究を両立した結果、推薦で特待生として大学院進学を決めることができました。卒業研究は、プレッシャーを感じながら自分の仕事に責任を持ち、先生とのディスカッションを繰り返しながら研究を行いました。修士1年生では、夏頃から就職活動を意識し始め、就職対策講座、インターンシップ、企業説明会に積極的に参加し、自分に合った企業を絞りました。修士2年生では、研究と就職活動を両立させるため、大学の就職課や指導教員の先生と相談しながら就職活動を進め、9月に株式会社トーモクから内定をいただきました。就職活動後は、研究に没頭する日々を過ごし、国内の大規模な学会や、英語で発表するハワイでの国際学会にも参加し貴重な経験をしました。また、大学院で成績2位を取り、学位記授与式で専攻代表として、学位記を受け取らせていただきました。大学生生活を振り返ると、研究を通して、勉強だけでなく社会でも必要とされる人間力や忍耐力を学ぶことができました。研究と就職活動を両立すべく就職活動を効率的に進めたことも、その一例だと思います。大学院に進学し、人として成長することで視野が広がり、学部の時にはできない経験や、考え方ができるようになりました。私は、一生慕える恩師との出会い、研究室で苦楽を共にした大切な仲間との研究生活が、人間的にも成長でき、人生を良い方向へ大きく変えることができたと思っています。

徹底したこだわりのモノづくりが魅力

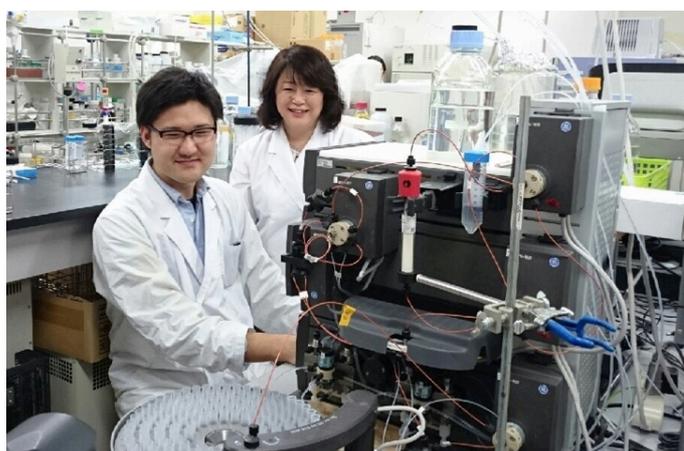
私がこの仕事を選んだ理由

私は、段ボールがあらゆる産業に必要とされている他、緩衝材としても様々な設計がされるなど、ダンボールの幅広い可能性に魅力を感じました。その中でも株式会社トーモクは、お客様の大切な商品を包むため、製品の「こだわり」を徹底的に追求したモノづくり力に魅力を感じました。また、現状に満足せず、新しい挑戦を続け、全社一丸となった妥協しないモノづくりに憧れを感じました。私は、この会社でなら生涯でモノづくりへの情熱を燃やし続け、社会に貢献していきたいと思志望しました。

プロとして成長し会社と社会に貢献したい

私が考える5年後の展望

私の目標は、製造現場で貼合の班長として活躍することです。貼合工程は、波形の中芯に2枚の紙を貼り合わせて段ボールを作るうえで最も重要な工程で、原料である原紙の特性や貼合機を微妙な調整が必要になってきます。私は、その品質に大きく関わる現場で、高品質な製品作りをできるようになるとともに、私が学んだ知識や経験を後輩社員に伝え安全な職場環境作り、会社と社会に貢献することを目指していきたいです。

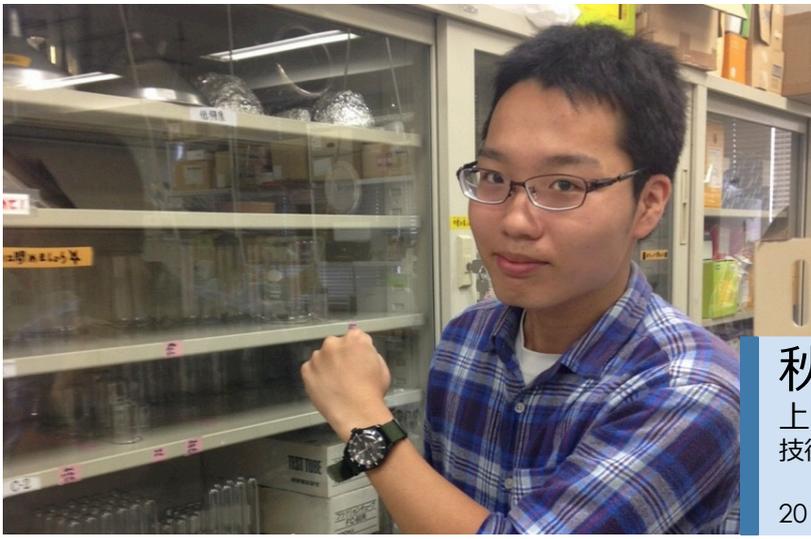


研究室にて教員から指導を受けながら機械を操作し分析を行う様子

企業情報

株式会社トーモク 東京証券取引所一部上場

全国北海道から九州まで生産工場を構え、ダンボール・紙器の製造・加工を行うトップメーカー。1949年、まだ木箱が主流の時代に東洋木材企業株式会社として設立。1956年に木箱に替わる包装資材としてダンボールへの転換を図る。現在、トーモクグループは国内35社・海外3社の計38社のグループを擁し、住宅事業も手がけている。



壁にぶつかっても 一步一步

秋澤 政孝 Akisawa Masataka
上田株式会社
技術営業[塗料・ペイント]

2016年3月卒業／神奈川県立平塚工科高等学校出身

壁にぶつかっても話し合っ乗り越えた

大学生生活と就職活動

工業高校から応用バイオ科学科に入学した私は、工業高校であまり触れてこなかった生物学という新しい知識を得る毎日がとても新鮮で、充実した日々を送っていました。後期になる頃には学校生活にも慣れて、趣味と学業の両立することができました。2年生では、3年生の時にあまり単位を取らなくてもいいよう可能な限り多くの単位を取りました。3年生で、空いた時間は友達と遊んだりしていました。しかし、将来のことを考え始め時、今までの自分ではいけないと感じ自分を変えようと決意。研究室配属の時には、優秀な学生が多く集まると噂されていた研究室を選びました。研究と就活の両立は難しく先生と相談の上、まずは就活に専念し就活終了後は研究に本腰を入れました。その過程では、今まで経験したことのない多くの壁にぶつかりました。ですが、その度に先生とやり取りをすることで正しい道筋を知り、正しい知識を持ってすすめることが出来ました。この卒業研究を通して、社会人として通用する人になることができた実感しました。

夢と趣味で様々なものに貢献できる

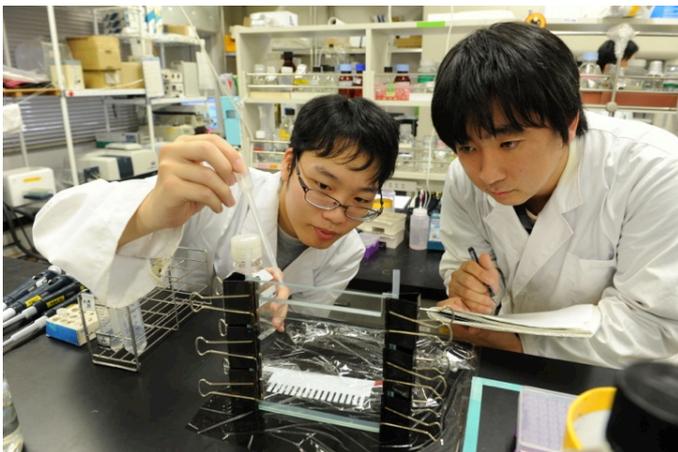
私がこの仕事を選んだ理由

私は、高校生の時から化学系の会社に入りたいとぼんやりと考えていて、大学に入ってもその思いは変わりませんでした。また、私の趣味はスケッチをすることで、色を使って表現をすることがとても好きです。就活を進める中で、塗料を卸売している会社に目が止まりました。塗料は様々なものや場所に使われ、塗料の機能性保持や彩によって建物や自動車などの創作物に貢献しているところに魅力を感じ、入社を決意しました。

信頼できる顔になりたい

私が考える5年後の展望

まだまだ未熟な部分もありますが、塗料の技術営業のプロとして、様々な経験や実績を積んで後輩や先輩にも頼りにされるような人になりたいです。また、取引先やお客様にも信頼され顔を覚えてもらえるように仕事をしていきたいです。



就職活動を終え、研究室で仲間と協力しながら研究に取り組む様子

企業情報

上田株式会社

1937年に個人事業として創業。関西ペイント株式会社の特約店として、塗料の販売事業からスタートし、塗装設備や機器の販売、塗装工事・改修工事など事業を拡大。"あらゆる構造物の美粧と保護"という塗料の役割を、年文化の彩りと捉え、多様な塗料ニーズに応える、塗料のプロフェッショナル企業。本社事業所の他、国内9営業所、海外に2出張所を構える。

助言や励ましは 大きなエネルギー



16

年卒業

川上 勇希 Kawakami Yuki

院卒

大東カカオ株式会社

営業[製菓]

2016年3月卒業 / 千葉県立我孫子高等学校出身

教員や仲間からの励ましをエネルギーに

大学生活と就職活動

入学当初は、他県から通学や知り合いもおらず不安でしたが、授業が始まってすぐに6年間共に大学生活を過ごした大切な仲間に出会い、その不安は吹き飛びました。2年の時は大学生活にも慣れ、アルバイトを始めたこともあり、学業が疎かになることもありましたが、まじめに学業に取り組む仲間たちの姿を見て、自分の生活を見直すことができました。3年の時、アメリカからの留学生と交流する機会があり、それがきっかけでアメリカへの半年間の留学を決意しました。留学で体験すること全てが刺激的で、とても楽しい毎日を送ることができました。研究室に配属され、初めて研究というものに向き合いました。初めは右も左もわかりませんでしたが、指導教員がやさしく指導して下さり、研究を続けるうちにより自分の研究を深く探究し、満足いく成果を上げたいと思うようになり、大学院へ進学。大学院では、学部のと看以上により自分で考えて実験を組んだり、得られた結果を考察し理論的に評価したりする能力が求められ、自分の能力の無さに絶望することもありましたが、教員方からの助言や仲間からの励ましによって、乗り越えることができました。大学や大学院で学んだ知識や経験、教員からの助言は就職活動の大きな力となり無事終えることができました。

世界に負けない知識と技術に魅了されて

私がこの仕事を選んだ理由

私は食を通じて日本を世界にアピールする仕事がしたいと考えていました。中でもチョコレートは、味、品質共に極めて高度であるにもかかわらず、世界からの注目度が低いと感じていました。そんな中、教員から会社を紹介していただき、その会社が持つカカオに関する豊富な知識や、その知識に基づいた高度なカカオ精製技術に他社にない魅力を感じ入社を決意しました。

いずれは世界で商品を広めたい

私が考える5年後の展望

まずは、会社が持つ豊富なカカオに関する知識やカカオの製造技術を学び、商品開発部で今までの嗜好品としてのチョコレートのイメージから脱却した健康食品としてのチョコレートを開発し、より人々に身近なものにしていきたいです。また、国内で実績を積み、いずれは海外での営業や展示会などを通して、大東カカオの商品を日本のチョコレートの代表として、世界にアピールできるようプロデュースしていきたいと思っています。

企業情報

大東カカオ株式会社

創業90周年のチョコレート原料メーカー。カカオ豆からチョコレートまでの国内一貫生産により、クライアントに大手の製菓メーカー、製パンメーカー、飲料メーカー、有名パティシエがいる洋菓子店などを抱える。2009年に日清オイリオ株式会社の連結子会社となる。



変える決断が 飛躍への一步

磯部 裕貴 Isobe Yuki
ガステックサービス株式会社
営業[ガス・石油製品]

2016年3月卒業／静岡県立藤枝西高等学校出身

自分を変えたいという気持ちは、大きく飛躍する一步になった

大学生生活と就職活動

入学当初は、講義をサボらず最低限の課題だけこなし努力もそこそこのものでした。大学の講義の面白さに気づいた2年からは、実験レポートや授業の予習・復習にコツコツと取り組むようになりましたが、3年生の時「これまで結局なにも本気で頑張っていない自分」に疑問を持ち、自分を変えるべく友人とは別の学内で最も厳しいと言われる研究室に入りました。この決断は私の生き方を大きく変えました。それからは毎日夜遅くまで卒業研究に没頭するようになり、そこには今までの自分にはなかった「本気の姿勢」がありました。それができたのは、同じ意識の高さで切磋琢磨し合った仲間の支えと、人生の恩師とも言える研究室の先生の厳しくも愛に溢れた教育があったからです。恵まれた環境と大学の手厚いサポートもあり、就職活動は楽しむ余裕すらあるほどスムーズに進められました。また、研究生生活を通して礼儀やマナー、資料作成能力、組織での動き方など、社会人として大切なことをたくさん学ばせていただきました。この大学生生活、特に卒業研究を通じて、人間として見違えるほど成長できたと自信をもって言えます。

自分の経験や持ち味を発揮できる幸せ

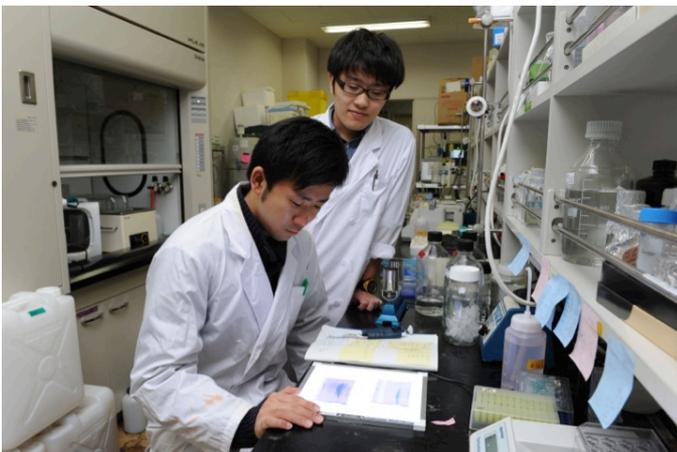
私がこの仕事を選んだ理由

大手ガス会社のインターンシップに参加し、都市ガス小売り自由化で変革するエネルギー業界に面白さと新たな可能性を強く感じました。また、「地域の生活をそばで支える仕事がしたい」という思いとマッチし興味を引かれました。その中、人柄や「理系」で真面目に勉強や研究に取り組んできたことをどこよりも評価して頂き、自分の経験や持ち味を発揮できる仕事に就けることほど幸せなことはないと思い入社を決めました。面接で営業職志望を伝えると人事の方から「理系で学んだ知識や論理的思考を活かした活躍も期待している」とお言葉を頂いたことも後押しになりました。

仕事でも私生活でも頼られる存在に

私が考える5年後の展望

公私ともに「頼れる男」になっていきたいです。仕事では、会社にとってなくてはならない存在となり、「プロ」と呼べる知識と信頼を備えた人材となっていきたいです。私生活では、自分の大切な人たちを守るだけの優れた判断力や行動力を身につけていきたいです。それを実現できるように、入社後も地道な努力を怠らず、常に上を見てチャレンジングに働きたいです。



自分を大きく変えた研究室で、院生の指導を受けながら研究に取り組む様子

企業情報

ガステックサービス株式会社

愛知県豊橋市に本社を置くLPガス事業者。1959年、中部ガス株式会社に液化ガス部が設置され、1961年に分離独立し、サーラグループ2番目の企業として中部液化ガス株式会社（現、ガステックサービス株式会社）として設立。愛知・静岡県を中心に、主に家庭用LPガスや石油製品の販売を行う。現在は関東圏の事業強化を目指している。

学んだ知識を 「教育」と「研究」で

14

年卒業



渡邊 茜 Watanabe Akane
国立大学法人 秋田大学
技術系職員[教育機関]

2014年3月卒業 / 岩手県立水沢高等学校出身

恩師や仲間が支えてくれた

大学生活と就職活動

大学生活は、高校までと違い学びたいことを自身で考え、選択し決定することから始まります。わたしは、両親に通わせてもらっている大学でより多くを吸収しなければもったいないと思い、とりあえずやれること興味があることを可能な限りやってみました。講義を詰め込み、教職課程と学芸員課程も履修しました。また、高校にはなかった部活動をしてみたいと思い放送研究部へ入部しました。そこで、他学科の友人や先輩後輩との関わりができました。正直なところ、将来についてはぼんやりと教員になろうかなという程度で就職についてはまったく考えてはいませんでした。そのため就職活動の時期で周囲が動き始めてもスイッチが入らず、4年生の新学期始まってすぐに恩師である研究室の先生に一喝いただき、ようやく就職活動をはじめました。はじめは出遅れた焦りや働くイメージがつかめない不安がありましたが、恩師や研究室の仲間など多くの方に支えられ、無事就職活動を終えることができました。

「教育」と「研究」わたしの希望がかなう職場

私がこの仕事を選んだ理由

この職の募集を知ったのは恩師からの紹介でした。はじめ教職に就くか悩んでいたわたしにとって、教育と研究どちらにも携わることができ、より興味があった医療に関わる研究をサポートできる医学系研究科技術部は自身の希望の多くがかなう職場でした。また秋田はわたしの出身地岩手県に隣接し、地元近くに就職できる点や育児支援等の福利厚生がしっかりしている点で生涯かけて安心して勤めることが可能だと感じたため就職しました。

サポートしつつ自身も高めていきたい

私が考える5年後の展望

この仕事に就き3年目でまだまだ勉強中の身ですが、新たな実験補助サービスの立ち上げや、最新技術・機器紹介セミナーの企画などを行ってきました。バイオサイエンス分野は進歩がはやく、次々と新しい技術・機器が生まれています。その中で、様々な機器と実験手法を使い多くの研究者のサポートを行うことはもちろん、自身の研究テーマをもち、学会に参加できるようになりたいです。



寒風山山頂（男鹿市）から秋田大学手形キャンパスに至る約40kmを歩く行事「今日歩大会」完歩後に撮影した集合写真

企業情報

国立大学法人 秋田大学

秋田県秋田市に4つの学部（国際資源学部・教育文化学部・医学部・理工学部）と4つの研究科（国際資源学研究科・教育学研究科・医学系研究科・理工学研究科）を有する1949年に設立された国立大学。3つのキャンパスに約4400人の学生が通う教育機関。

応用バイオ科学科オリジナル
先輩達のCareer History 「to the next」
2016年版

制作：神奈川工科大学応用バイオ科学科
編集：Naito Chihiro
デザイン：(テクニカルサポートスタッフ)
制作協力：応用バイオ科学科就職委員
 応用バイオ科学科就職事務室
発行：2016年 7月 1日